

まちづくりの目標	1. 安全で、安心して健康に暮らせるまち	主担当課	総務課（消防）・警防課・予防課
小分野	1 4 2 消防	関係課	消防署

1. 第5次総合計画後期基本計画の成果と課題

	小分野	現状と課題	4年後のまち	指標	4年後のまちに向けて 実現できた主な成果	4年後のまちに向けて 残した主な課題												
第5次生駒市総合計画後期基本計画	473 消防	<p>市民への防火啓発や、建築物の検査等を積極的に行い、火災予防に努めるとともに火災による死者の発生を最小限にするため、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されたことを受け、実態を把握し設置の推進に努めています。</p> <p>大規模地震の発生や、近年の災害の多様化、大規模化、市民ニーズの変化など消防を取り巻く環境の変化に適切に対応するためには、消防本部・消防署の消防力を強化し、大規模災害には、大きな戦力となる消防団の強化や、広域的な応援体制も推進しなければなりません。</p> <p>複雑な災害対応、広域的な応援や財政面の効率化等を図るためには、本市と奈良市がそれぞれで行っていた通信指令業務を共同して、運用する必要があります。</p> <p>また、高齢者や軽症者の要請などにより増加している救急出動に対応するため、救急医療体制を強化するとともに、救急車の適正利用の対策を進めなくてはなりません。</p> <p>これらの対策とともに、救急救命士の養成など多様な専門分野に対応できる職員を育成していく必要があります。</p>	① 市民に火災予防の意識が浸透し、各自が防火対策を行っている。	<p>① 年間火災発生件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値	達成	H21	H29	H30	状況	24	20	25	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや火災予防運動での広報活動と広報紙、HP、ツイッターなどの広報媒体を利用した火災予防広報を実施したことで、年間火災発生目標件数が達成されたことから、ある一定の成果として、火災予防への意識が浸透したと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用火災警報器の設置促進に向けた広報を実施したが、設置率が伸び悩んでいることから、今後も継続して行う。</li> </ul>
			実績		目指す値	達成												
			H21	H29	H30	状況												
24	20	25	◎															
② 消防力が強化され、消火、救急体制の整備が進んでいる。	<p>② 年間延焼棟数（棟）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値	達成	H21	H29	H30	状況	0	0	0	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市との通信指令業務の共同運用</li> <li>・隣接消防本部との相互応援協定の見直し</li> <li>・研修などによる高度な職員教育の実施</li> <li>・計画的な消防車両（化学車、救助工作車）と職員装備の更新</li> <li>・消防団の強化</li> <li>・消防団員の教育強化（県消防学校（H26～H29年度平均12.5人入校） 3分団拠点施設の耐震化 4分団拠点施設の新築工事 団員装備の更新（MCA無線機・防火帽・防火衣・防火手袋・雨衣・活動服など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接消防本部との相互応援協定の見直しと強化</li> <li>・継続的な人材育成</li> <li>・計画的な消防車両と職員装備の更新</li> <li>・消防団員の教育強化（H30年度県消防学校入校予定者数25名）</li> </ul>			
実績		目指す値	達成															
H21	H29	H30	状況															
0	0	0	◎															
③ 救急現場に居合わせた人が、救命処置を実施することにより、救命率が向上している。	<p>③ 救命講習会の受講者数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,337</td> <td>3,036</td> <td>2,720</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目指す値	達成	H21	H29	H30	状況	2,337	3,036	2,720	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや広報紙、HP、ツイッターなどの広報媒体を利用した救急車適正利用についての広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的なイベントや広報紙、HP、ツイッターなどの広報媒体を利用した救急車適正利用についての広報活動</li> </ul>			
実績		目指す値	達成															
H21	H29	H30	状況															
2,337	3,036	2,720	◎															

2. 第6次総合計画（原案骨子）

第6次総合計画（原案）					
現状と今後5年間の展望	今後5年間の主な課題	5年後のまち (2024年3月末)	指標（複数候補）	行政の5年間の主な取組	具体的な事業
1 火災予防対策の推進 2 消防力の強化 3 救急の適正な利用促進	1 火災から市民の生命、財産を守ることが不可欠であるため、予防体制の充実を図る必要がある。 2 大規模地震の発生や、近年の災害の多様化、大規模化など消防を取り巻く環境変化に対応するために本部・署・団の消防力を強化し、隣接消防本部との広域的な活動連携が必要である。 3 救急車を必要としない出動要請を抑制するため、救急車の適正な利用に対する市民の理解と協力の促進を図る必要がある。	①市民に火災予防の意識が浸透し、各自が防火対策を行っている。	①年間建物火災発生件数（予防課）	① 1 火災件数の減少や火災による死傷者をゼロに近づけるため、火災予防の一層の普及啓発を図ります。（予防課・消防署） ① 2 市民や事業所の防火意識高揚及び火災の初期対応力の向上を図ります。（予防課・消防署） ① 3 防火対象物及び危険物施設等への立入検査を実施し、法令違反については是正指導を強化します。（予防課・消防署）	① 1 住宅用火災警報器に対する設置促進と設置から10年以上経過した製品の取り換えの促進（予防課・消防署） ① 2 市民への防火に関する広報や事業所への消防訓練の実施の促進（予防課・消防署） ① 3 消防法令違反対象物の公表と違反是正の実施（予防課・消防署）
		②消防力が強化され、消火、救急体制の整備が進み、隣接消防本部との相互応援協定の見直しと迅速な活動連携が進んでいる。	②消防隊現場到着後の年間延焼棟数（消防署）	② 1 消防職員の活動能力向上のため、関係機関との各種研修会及び合同訓練への参加を促進します。（消防署） ② 2 消防団活動の充実を図るため、県消防学校専科教育入校や研修会等への参加を促進します。（総務課） ② 3 消防団加入促進事業として「消防団応援の店」制度を整備します。（総務課） ② 4 府県を越えた隣接消防本部との相互応援協定見直しと合同訓練実施による迅速な活動連携を図ります。（警防課・消防署） ② 5 高度な救命処置の実施による救命率向上と救急業務の高度化を推進します。（警防課） ② 6 消防活動に使用する緊急車両・資器材等の整備及び充実・強化のため、車両等の更新及び維持管理を行います。（警防課・消防署） ② 7 奈良市・生駒市消防指令センターとの円滑な活動連携並びに出動計画の見直し（警防課）	② 1 消防職員の活動能力向上（消防署） ② 2 消防団員の活動能力向上（総務課） ② 3 消防団員の人員確保と体制の充実強化（総務課） ② 4 隣接消防本部との迅速な活動連携（警防課・消防署） ② 5 救急業務の高度化 救急体制の強化（警防課・消防署） ② 6 更新計画に基づく緊急車両の更新（警防課） 消防資器材及び消防水利の整備と維持管理（消防署） ② 7 奈良市・生駒市消防指令センターとの連携強化（警防課）
		③市民が救命講習会を受講して応急手当てを理解することにより「救急車の適正な利用」が進んでいる。	③救命講習会の受講者数（消防署）	③ 1 ホームページや広報紙等を利用した救急車の適正な利用の啓発活動を行います。（警防課・消防署） ③ 2 市民に救命手当ての方法を身に付けてもらうために救命講習会を開催します。（消防署）	③ 1 救急車の適正な利用の広報（警防課・消防署） SNS等を活用した広報 ③ 2 救命講習会の実施（消防署）

### 3. 庁内連携、市民等との協創のアイデア等

5年後のまち (2024年3月末)	課題解決のために 必要な庁内連携	課題解決のために必要な市民・事業者に 果たしてもらいたい役割	課題解決のために取り組みたい「協創」のアイデア			
			市民と	地域と	事業者・NPO等と	他の行政機関等と
①市民に火災予防の意識が浸透し、各自が防火対策を行っている。	・火災予防と市民の生活環境保全のために、農林課、環境保全課と連携し、野焼き防止広報を行う。 ・いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまちづくりのために、建築物の法令違反を建築課と連携し、処理する。	[市民] ・市民による住宅用火災警報器設置などの自主的な火災予防への取組 [事業者] ・事業者による防火管理体制や防火安全対策の充実強化		・住宅用火災警報器設置率向上のために、自治会と連携し、啓発活動を行う。	・火災予防に関する広報のために、給油所をはじめとする市内事業所との連携を行う。	
②消防力が強化され、消火、救急体制の整備が進み、隣接消防本部との相互応援協定の見直しと迅速な活動連携が進んでいる。	・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に対する取組み事項を整備するために、防災安全課と連携し、調整を図る。	[市民] ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に対する取組み ・初期消火活動や救護及び救助活動 ・消防団活動の充実・強化		・地域防災力を強化するために、住民と消防団の連携による消火・救出活動訓練を行う。	・「消防団応援の店」制度設立のために、商工会議所と連携し、制度の理解と協力を促す。	・「消防団応援の店」を相互利用可能な制度とするために、隣接市町村と連携した取組みを行う。 ・隣接消防本部との迅速な活動連携を図るために、相互応援協定の見直しを図る。
③市民が救命講習会を受講して応急手当を理解することにより「救急車の適正な利用」が進んでいる。	・「救急車の適正な利用」を促進するために、地域医療課と連携し、地域医療体制の充実強化を図る。	[市民] ・「救急車の適正な利用」に対する理解と協力 ・救命講習会への参加 ・災害発生時の救護救助活動	・「救急車の適正な利用」の広報活動を効果的に行うために、市民団体への協力を要請する。	・「救急車の適正な利用」の広報活動を推進するために、女性広報指導分団のOGを柱とした広報活動団体を設置する。	・適正な救急搬送をするために病院や搬送事業者による患者搬送を推進する。	